

市政を問う

一般質問

※問と答の内容は、各議員本人が要約したものです。
※問の下の氏名は発言議員名です。

防 災

震災対策について

問 仙田 震災時の情報発信の手段として市のホームページがあるが、今後工夫すべき点は。

答 ホームページは情報量が增加しているが、情報の更新が遅れている場合があります。また、視覚障がい者の方への音声読み上げや、外国語へ翻訳する機能がありません。今後の検討課題としてとらえています。

音声自動心答サービス

問 堀口 「防災行政無線が聞こえにくい」という声が多く聞かれた。もう一度電話で放送内容を確認できるシステムの導入を。

答 情報メール配信を補う手段として有効と考え、検討し

ていきます。

防災行政無線の見直し

問 伊藤美 アナウンスが聞こえにくいとの指摘がある。見直しは。

答 機器の更新の際に、改善に努めたい。

水道水の安全や放射線量の情報提供を

問 伊藤美 市として市内八カ所で地表近くの放射線量を測定した。今後も継続して多くの場所での測定と情報提供を。

答 測定器を購入し継続して測定します。結果はホームページ等で公表します。

問 水道水の情報提供は。
答 基準値を超えたときに乳児の保護者にメール配信

等を行ない、ペットボトルの配布を行ないます。

防災設備について

問 有山 防災井戸は市内に何カ所あるのか。

答 現在、市内には防災用井戸を十一カ所整備しています。

問 震災時には停電になると思うが、非常用発電機などの準備はしてあるのか。
答 発電機は市内の防災倉庫

に四十三機を配備してあります。

問 防災倉庫は市内に何カ所あるのか。

答 市内二十カ所の地域防災拠点に設置してあるほか、市の管理で八カ所あります。

災害に強いまちづくり

問 田村 自主防災組織は一〇〇%を目指すべきでは。その方向でいきます。

問 防災を市長と同じレベルで考える人が必要。リスクの分散を考えるべきでは。
答 副市長を危機管理監としました。

問 保育所ごとのメール配信が必要ではないか。
答 震災の状況を踏まえ、メール配信は必要と考えます。六月一日から始まった「子育て情報メール」を活用してもらいたい。

地域防災計画の見直しを

問 堀口 公助の見直しとともに、共助・自助の重要性に目を向けるべき。市民の経験や提言を生かした計画の見直しを。



救急あんしんシート（名前や連絡先、持病などをシートに記入し、ケースに入れて携帯します）

問 災害時に有効な個人情報を持ち出すとして身につけてはどうか。
答 防災関連の見直しの中で検討していきます。

問 水害を考え高層建築物を避難先として提議すべきではないか。
答 調査・研究をしてみたいと思います。

保育所園庭の放射線測定

